

平成24年度 第3回宇都宮市保健衛生審議会 議事録

日 時 平成25年2月21日(木)午前10時00分から午前11時00分まで

場 所 宇都宮市保健所3階 大会議室

出席者

1 委員(17名)

稲野会長, 塚田副会長, 斉藤委員, 馬上委員, 柳川委員, 小林委員, 土川委員,
宇山委員, 糸委員, 吉田委員, 寺内委員, 亀井委員, 小野委員, 鈴木委員, 橋本委員,
土尻委員, 永井委員

(委員名簿順)

欠席委員: 中村好一委員, 中村次郎委員, 佐々木委員, 青木委員, 細谷委員,

2 事務局(19名)

保健福祉部長, 保健所長, 保健所副所長, 保健福祉部総務担当主幹, 保健所総務課長,
保健所総務課長補佐, 健康増進課長, 健康増進課長補佐, 保健予防課長,
健康増進課健康づくりグループ係長, 健康増進課健康診査グループ係長,
保健予防課保健対策グループ係長, 保健所総務課職員1名, 健康増進課職員5名,
保健予防課職員1名

公開・非公開の別 公開

傍聴者・記者 なし

会議経過

1 開 会

- ・ 委員の過半数が出席しており, 本審議会は有効であることを報告
- ・ 「附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき, 会議公開について説明
- ・ 所定の手続きにて事前に周知し, 傍聴希望者・記者はなし

2 あいさつ(会長)

3 報告事項

平成24年度第2回宇都宮市保健衛生審議会での主な意見について

4 審議事項

- (1) 「第2次健康うつのみや21」計画(素案)に対するパブリックコメントの結果及び計画(案)について
- (2) 「第2次健康うつのみや21」計画に関する答申(案)について

5 委員からの主な意見・質問等（要旨）

(1) 「第2次健康うつのみや21」計画（素案）に対するパブリックコメントの結果及び計画（案）について

委員

- ・（資料2-1）4ページ）環境づくりをすべきという意見に対し、「個人や家庭での取組」だけでなく、もう少し前向きな姿勢を見せてはどうか。
- ・ 歩行禁煙は喫煙マナーの最も基本的な部分であるので、市民には明確に様々な機会で伝えるべきである。

事務局

- ・ 歩行禁煙の環境づくりについては、喫煙者の喫煙マナーの遵守など「個人や家庭での取組」を推進するほか、「地域や学校、企業、行政等の取組」の中で、受動喫煙を防止するため、喫煙場所以外での喫煙の防止などに取り組むこととしている。

委員

- ・（資料2-1）3ページ）たばこ産業との関わりの中で、一律的かつ過度な受動喫煙防止対策がなされないようにとの意見があるが、受動喫煙のない社会を実現させるうえで、たばこ産業との関わり方の市の基本的な考えを教えてほしい。
- ・ 国際的には「たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約」があり、たばこに対して一定の見解が示されているので、そういうものも今後の参考にしてほしい。

事務局

- ・ たばこ産業との関わりについては、たばこ自体が法で認められた嗜好品であり、喫煙者と非喫煙者それぞれに配慮しながら、受動喫煙防止を推進する考えであり、受動喫煙の防止と禁煙したい方が禁煙できる環境づくりを進めたい。

委員

- ・（資料2-1）2ページ）身体活動・運動における「個人や家庭での取組」が漠然としていて、どの年代の取組なのかがわかりにくいので、明確にすべきである。
- ・ 小学生の体力テストの結果をみると、遠投などの測定値が悪化している。
- ・ また、「65歳までに何をしておけば健康に思えるか」という前期高齢者を対象としたアンケートにおいて、女性では“運動をしておけばよかった”という意見が多く、男性では“歯を治しておけばよかった”という意見が多かったという結果があることを踏まえ、年代に合わせた取組をわかりやすく記載すべきである。

事務局

- ・（別紙3）2ページ）計画の中で、ライフステージごとに具体的な市民の取組を明記している。
- ・ 子どもの運動量が減少しているという現状を踏まえ、保護者への健康に関する情報提供などを強化し、日常生活の中で運動を習慣化させるとともに、小中学校と連携して体育の授業等で体力強化を図っていく。

- ・ また、現在、「(仮称)宇都宮市歯科口腔保健基本計画」の策定を進めており、子どもから大人までの歯周病への対策などに取り組んでいく。

(2) 「第2次健康うつのみや21」計画に関する答申(案)について

委員

- ・ (資料2-2)2ページ)「第2次健康うつのみや21」計画の推進体制と、現在改定作業中の第5次宇都宮市総合計画との関係性はどのようなものか。
- ・ 「第2次健康うつのみや21」計画は第5次総合計画における実施計画に位置付く具体的な事業なのか、それとも部門計画に位置付くのか。
各種団体との連携という推進体制については、実施計画に位置付かなければ具体的に推進するのは難しいのではないか。

事務局

- ・ 「第2次健康うつのみや21」計画は部門別計画に位置付くものである。
- ・ 第5次総合計画の中でも健康寿命を延ばすことで社会に活力を持たせることとしており、地域ぐるみの健康づくりの推進として、これまでは健康づくり推進組織を中心に推進してきたが、今後はさらに広がりを持たせるため、地域団体との連携も図っていく。

委員

- ・ (資料2-2)2~3ページ)基本方向「生活習慣の改善」「生活習慣病の発症予防・重症化予防」についての記載の中で、3大死因(3大疾病)に関する記載はあるが、厚生労働省の方針を踏まえ、5大疾病についてもふれるべきではないか。
- ・ 計画に記載のある「がん」「心臓病」「脳卒中」の3大死因(3大疾病)に加え、「糖尿病」と「精神疾患」を加えたものが5大疾病であり、それぞれ個別の対策は各論に盛り込まれているが、答申の中で5大疾病の取扱いについて工夫したらどうか。

事務局

- ・ いただいた意見を基に、事務局にて整理する。

委員

- ・ (資料2-2)1ページ)栃木県では歯科口腔保健に関する条例を制定し、歯科口腔保健の推進に取り組んでいるが、宇都宮市の「(仮称)宇都宮市歯科口腔保健基本計画」はすでに作成に取り掛かっているのか、それともこれから取り掛かるのか。

事務局

- ・ 現在、庁内で作成を進めており、来年度の策定に向け、「第2次健康うつのみや21」計画の歯科口腔保健分野に基づきながら、ライフステージなどの細かい部分について内容を検討中である。

委員

- ・（計画素案66ページ）日本歯科医師会は「80歳で20本以上自分の歯がある人の割合」の目標値55.0%を、5年後に達成できるという見込みを発表されているが、「第2次健康うつのみや21」計画では10年後の目標値に設定しているので、数値設定に当たってはその数値に留意してほしい。
- ・ 歯周病と糖尿病の関係や、歯周病と妊産婦の関係について、素案に盛り込んでほしい。
- ・ 「定期的に歯科健診を受ける成人の割合」の現状値が26.6%とあるが、実際はもっと低く感じる。
20歳を過ぎると歯科健診を受ける機会が減るので、成人式に合わせた歯科健診など、若年層の歯科健診実施についての内容を盛り込んでほしい。

事務局

- ・ 「80歳で20本以上自分の歯がある人の割合」の目標値55.0%は、平成13年、18年、23年の市民健康等意識調査の結果から、推計値を算出した。
- ・ 歯周病と糖尿病の関係については、計画の中で「地域や学校、企業、行政等の取組」に歯周病と全身疾患の関連性などの普及啓発を位置付けている。
- ・ 歯周病と妊産婦の関係について、妊娠中はホルモンのバランスやケア不足により、むし歯が増える時期であるので、今後、歯科口腔保健基本計画の作成を進めるうえで、関係課と協力し、妊産婦への普及啓発や受診勧奨に努めていく。
- ・ 市の歯科健診は40歳からのもので、結果をみると約8割の方が要精密検査・要治療に該当し、健診を受けることで意識が高まるところもあり、健診は健康を確かめる年に1回の機会なので、市としては毎日のケアと歯の重要性を普及啓発しながら、20歳の健診についてはこういったところで健診を行うことで効果的であるかを含め、今後、検討していく。

委員

- ・ 答申の中に「こころの健康」のことも具体的な内容を盛り込むべきではないか。

委員

- ・（資料2-2）2ページ「第2次健康うつのみや21」計画の推進体制について、各種団体との連携が主な内容となっているが、より積極的に健康教育、啓発などを推進することも伝わるよう修正してほしい。

(3) その他

委員

- ・ 食についても運動についても生活習慣を重視しており、その方向性は良いと思うが、最終的な目標は肥満防止であると思う。
- ・ 宇都宮市も含め、栃木県は肥満が多い傾向にあり、取組は生活習慣の改善という方向でいいと思うが、目標としては肥満の防止などを全面に押し出し、メタボ防止

ではなく、肥満防止のスローガンのようなものがあるとわかりやすいのではないか。
事務局

- ・ 宇都宮市を含め栃木県では肥満が大きな問題となっており、肥満については本計画の基本方向の1つである「生活習慣の改善」の中で取り上げており、健康づくりを進めていくうえで、肥満予防を具体的な事業の中で進めていくこととしている。
- ・ (別紙1)2ページ)基本方向の設定の理由において、成人男性の肥満の改善など生活習慣の改善の必要性、また、(別紙2)2ページ)NCD分野の重点目標として「肥満または肥満症と言われたが、治療や取組をしていない人の割合」など、肥満について計画に盛り込んでいる。

委員

- ・ (計画素案127ページ)がんの部位別死亡数についてのグラフがあるが、わかりにくいので修正してほしい。
- ・ データの出典の記載に当たっては、「年」と「年度」の使い分けに注意してほしい。

事務局

- ・ いただいた意見を基に、事務局にて整理する。

委員

- ・ (計画素案29ページ)健康寿命について、国民生活基礎調査に基づく算定方法と要介護度に基づく算定方法によって大きく値が異なるが、どちらの数値を今後の目標としていくのか教えてほしい。

事務局

- ・ 市町村においては、要介護度に基づく数値を採用することとしている。
- ・ 健康寿命の算出方法については、国が研究を進めており、現時点で絶対的なものではないが、2つの方法が用いられている。国民生活基礎調査の結果に基づくものは国や県で用いられ、要介護度に基づくものが市町村の数値として用いられる。

6 その他

- ・ 「第2次健康うつのみや21」計画について、宇都宮市保健衛生審議会の答申は、平成25年3月14日を予定している。
- ・ 審議会での意見を事務局にて整理し、会長に確認のうえ、修正する。

7 あいさつ(保健福祉部長)

8 閉会